

What?

Why?



所長 山本の

# ワイズリレーインタビュー

第73回 株式会社広田薬品 取締役 高見 謙輔 さんに聞きました!

寄り添い続けた100年、より寄り添い続ける100年へ。

Q 業務内容を教えてください。

岩手県内に調剤薬局を3店舗展開しています。「信用第一」を理念に掲げ、健康家族のパートナーとして、地域のみなさまの健康を守るため、努力を重ねています。

Q 創業の経緯、会社の歴史を教えてください。

98年前の1926年（大正15年/昭和元年）に、置き薬として事業を始めたのがはじまりでした。今でこそ、ドラッグストアも含めた薬局は、全国的にコンビニよりも多く身近な存在となりましたが、信用第一であるこの商いは今でも続いています。

そういう中で、病院や診療所などのお医者さんの診断を経て処方箋にて指示された薬を、処方箋の指示に基づいて調剤してお薬として受け渡す調剤薬局も始め、株式会社として1969年（昭和44年）に創業に至りました。

Q どのような経緯で来られたのでしょうか？

出身は愛知で、横浜の大学に通った後、10年ほど東京の鉄道会社に勤めました。大学の時に出会った妻のご縁で、2021年の10月に会社の取締役として勤めることになりました。

Q 他社と違うセールスポイントはありますか？

今は地域包括ケアというのがあり、今までお医者さんと患者さん、ヘルパーさんと患者さんといったように、個と個の関係性だったものを、お医者さんとヘルパーさんを繋げチームとして患者さんをケア



甘いマスクの高見さん。経緯や思いを、ていねいにお話ししてくれました。声も甘いです。



していくようになりました。ここに薬剤師はあまり関わっていなかったのですが、お薬のプロとして担っていくよう推進されています。現状はまだまだではありません。

その中で、日常来てくれている患者さんに声がけをしたり、健康食品を取り扱っているので、血圧が高い方にはこれがいいですよ、などと提案できるようなカタチ。その人の本当の健康生活を、薬剤師が伴走して支えていくことをセールスポイントとして目指しています。気軽に健康について相談できるような場所が最終形態だと思っています。

Q 働き方改革で進めたいことはありますか？

完全なお休みがあまりないので、そこを増やしていきたいと思っています。薬局間で人員のやりとりができなく、1店舗で多くの人員を抱えることもできない。このことをどうにかしたく考えています。

Q 自分なりの勉強や情報収集の方法などありますか？

主幹となる厚生労働省より、データや法改正の